

HIV 感染と妊娠

尾崎 智美¹⁾ 川上 沙織¹⁾ 吉里 俊幸²⁾

* 尾崎智美と川上沙織の本稿に対する貢献度は同一である。

1) 福岡大学医学部 4 年生

2) 福岡大学病院総合周産期母子医療センター

要旨：AIDS は、HIV 感染によって発症する重症免疫不全疾患である。その感染者は、世界的に増加傾向にあり、日本においても、感染者・患者数は年々増加している。AIDS は予防できる疾患であり、その治療法も確立されているものの、AIDS 患者に対する差別の問題など社会的問題が根深く残っている。成人女性の患者の場合、妊娠や出産は可能であり、母子感染を防ぐために、母児への抗ウイルス療法、選択的帝王切開による分娩、断乳などの対策がとられている。

キーワード：HIV，AIDS，垂直感染，HAART，妊娠